

旧赤松家だより

平成 29 年 12 月 13 日



寒さが身にしみる今日この頃、日だまりの暖かさがひとときわ嬉しく感じられます。

旧赤松家の象徴ともいえる門や塀は赤煉瓦で重厚に作られています。

向って左側に見える門番所（守衛所）の煉瓦は長手と小口に交互に積んだフランス積みが特徴で県の指定文化財になっています。

西洋文化を感じさせる煉瓦の赤い色は製造工程で高温で焼成される事によって変わってきます。700℃くらいではまだ土色、800℃くらいで色が付き出し、900℃を超えるとオレンジ色の素焼き状態になり、1000℃～1100℃で鮮やかな赤い色に焼きあがるそうです。

明治の時代に触れながら赤煉瓦をバックにお写真を撮ってみてはいかがでしょうか？

今月 13 日から内蔵ギャラリーでは岡本 孝仁さんの『一期一会の山野草写真展 2017』を開催しています。

四季折々の自然味あふれる山野草の写真を約 20 点展示していますのでぜひご覧ください。

内蔵ギャラリーのご案内

一期一会の山野草 写真展 2017

開催期間：12月13日（水）～12月28日（木）

* 休館日 12月18日（月）、12月25日（月）、12月26日（火）

開催時間：午前9時～午後4時30分（最終日は午後3時00分まで）

入場料：無 料

出展者：岡本 孝仁

問い合わせ：旧赤松家記念館 0538-36-0340



展示作品より